

## 新年度のスタートにあたって

4月に入ってからも冬のような寒さを覚える日が続きましたが、桜花の華やぎが春本番を告げています。新年度が始まり、子どもたちの明るい笑顔と元気な声が校庭に響いています。それぞれ学年が一つずつ上がって気持ちも新たに1学期のスタートを切ったようです。明日の入学式から新1年生が加わり、稗田小学校の全児童が揃います。教職員も新体制で平成24年度の稗田教育を開始しました。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、本校では「夢と自信をもって生きる、心豊かなたくましい子の育成」を目標に掲げ、知育・徳育・体育の観点から「みんなで考える子」「みんなで仲よくする子」「みんなでがんばる子」を目指す子ども像に掲げて教育活動を展開してきました。

「みんなでー」には、互いに支え合い学び合って絆を深め、共に育って行ってほしいという願ひが込められています。また、ここ数年「あいさつ」と「返事」を具体的な重点指導項目の一つに掲げ、登下校時や学校行事など、様々な場面で明るいあいさつや明瞭な返事の指導を行ってきました。明るい「あいさつ」や明瞭な「返事」は、言わば「型」の指導の範疇なのかもしれませんが、社会性やコミュニケーション能力など、今後、社会人として生きていく上での基礎を形成するものだと考えます。もちろん、あいさつや返事を無理やり押し付けるということではありません。あいさつを交わすことで得られる心地よさ、さわやかさを機会あるごとに感じさせたり、あいさつやはっきりとした返事から相手が受ける自分への好印象を伝えて褒めたりすることで、よさを実感できるようにしていきます。「型」にきちんと意味付け、価値付けをするわけです。あいさつや返事の指導は、理屈は簡単ですし、内容も単純であるにもかかわらず、これがなかなか定着しにくいのです。常に意識付け、とにかく粘り強く続けていかなければなりません。また、学校の中の指導だけでは十分とは言えません。家庭、そして地域へと広がり、かつての「オアシス運動（「おはようございます」「ありがとうございます」「しつれいします」「すみません」）」のように学校・家庭・地域が連携して取り組むことで本物の「あいさつ力」「返事力」が身につくと思ひます。

いかに高らかに教育の理想を掲げても、学校のみだけではなかなか目標達成にはつながりません。あいさつや返事といった社会生活を送るうえでの子どもたちの基本的な生活習慣の育成や校外生活での安全、さらに家庭学習習慣などは、保護者の皆さんや地域の方々のご理解とご協力が是非とも必要です。「学校側」あるいは「保護者側」と、対立関係で互いを捉え、要求を突き付け合ったり、批判し合ったりする不毛の関係ではなく、これまでどおり学校も家庭も地域も、子どもをよりよくすることを目標にした「子育てチーム」として「みんなで知恵を出し合い」、「みんなで苦労し合い」、子どもの成長を「みんなで喜び合う」関係でありたいと願ひています。

校長 牧坂 浩一

### お知らせ

新学習システムの横川 早知枝先生は5・6年生で教科担任制を担当します。

今年度の特別支援コーディネーターは、小松薫先生と平尾和可子先生です。お子様のごことで相談等がありましたらお申し出ください。

3年2組担任平山紀子先生は、ご家庭の都合によりしばらくお休みをします。代替教員として三石友子先生が担任されます。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。